

事前評価書

| | |
|------|----|
| 年度 | 27 |
| 整理番号 | |

| | | | | |
|-------------|------------|---|------|-----|
| 事業名・路線名等 | | 道路改築事業 一般県道 西大山大野日田線 | 事業主体 | 大分県 |
| 所在地 | | 日田市大山町西大山（上野3工区） | | |
| 事業概要 | 事業の目的 | 視距改良や待避所設置を行うことで、沿線住民の利便性の向上や安全性の確保を図る | | |
| | 事業内容 | 【計画延長・幅員】 L=182m(現拡)、W=4.0(5.0)m (1.5車線の道路整備) 【構造規格】 第3種第5級 【計画交通量】 400台/日(H42) 【現況幅員・交通量】 最小幅員W=2.8m 交通量 362台/日(H22センサス) 【重要構造物】 橋梁 1橋(L=25m) | | |
| | 事業費 | C=130百万円 | | |
| 事業の実施計画 | 完成予定年 | 着手から2年(平成28年度) | | |
| | 事業段階毎の実施計画 | (道路詳細設計、測量、橋梁詳細設計) 1年目 用地測量、用地買収 2年目 道路工事、橋梁工事 完成 | | |
| 事業の必要性 | 必要性・緊急性 | ・幅員狭小のため離合困難 ・線形不良による橋梁高欄等への車両の接触 | | |
| | 整備効果 | ・幅員狭小箇所、線形不良箇所が解消され生活道路としての機能が向上 ・日田市中心部へのアクセス向上 | | |
| 事業手法・工法の妥当性 | 費用対効果分析 | ・1.5車線の道路整備のため費用便益比の算出は困難 | | |
| | 工法の妥当性 | ・周辺環境への影響が最も小さい現道拡幅としている ・橋梁部については、現橋拡幅案、架替案(2案)の比較を行い、経済的な方法を選定 | | |
| | コスト縮減 | ・1.5車線の道路整備を適用 | | |
| | 環境等への配慮 | ・地形改変の少ない計画としており、自然環境に及ぼす影響は少ない | | |
| 事業実施環境 | 事業の実効性 | ・計画段階から地元と調整を行っており、地元の要望も強く、期成会も協力的である ・関係地権者からは用地協力の同意を得ている ・日田市大山振興局に事業の地元窓口があり、地元調整を積極的に図っている | | |
| | 事業の成立性 | ・道路法第15条に基づき実施 | | |
| | 事業の特殊性 | ・特になし | | |
| 対応方針 | | ・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい | | |

事業箇所位置図

